

東日本手外科研究会ニュース

Newsletter of Eastern Japan Society for Surgery of the Hand

令和2年9月30日号

September 30, 2020

●●● 第35回東日本手外科研究会開催にあたって

第35回東日本手外科研究会を2021年1月30日土曜日、栃木県宇都宮市の栃木県総合文化センターで開催させていただくことを大変光栄に存じます。獨協医科大学として本研究会の開催は初めてのことです。

今回のテーマは、私の手外科への思いをシンプルに、そしてダイレクトに表現し「手外科への情熱」としました。本研究会は若い医師にとって手外科への登竜門といえる会で、私も平成元年山形市で開催された第3回研究会から発表し、参加してきました。そして、当時の手外科への熱い思いは今も何ら変わっていません。会員の皆様も同じ気持ちではないかと思えます。手外科への熱い思い、強いこだわりを皆さんと一緒に語る会にできればと考えております。

特別講演は昨年まで日本手外科学会の理事長であられた加藤博之先生に「Academic hand surgeonとしての情熱と軌跡（仮題）」と題して、科学する手外科医として先生のこれまでの歩みとその時々の思い・情熱についてお話していただく予定です。招待講演はアメリカニューヨーク、Weill Medical College of Cornell Universityの整形外科・手外科教授であるHospital for Special SurgeryのScott W. Wolfe先生にお願いしています。また、シンポジウムとして私のlifeworkである橈骨遠位端骨折の手術治療、主題として治療の新しい試み、舟状骨偽関節、母指CM関節症、ヘバーデン結節・ブシャール結節、絞扼性神経障害等を考えております。演題募集は2020年9月19日から10月31日 (<http://www.procomu.jp/ejssh2021/>) を予定しております。

宇都宮の餃子やイチゴは皆様よくご存じでしょうが、実はカクテルも宇都宮は有名です。カクテル技能競技全国大会で数多くの優勝者を輩出し、レベルの高いバーが数多くあります。また、近郊には大谷石採掘跡の巨大な地下空間、世界遺産の日光東照宮、鬼怒川温泉などもあります。さらに、今回は特別企画として泉整形外科病院院長の高原政利先生発案で、本研究会では初めてとなるテニス大会も計画しております。研究会と共に栃木の食、テニス、観光も楽しんでいただけたら幸いです。多くの方々のご参加をお待ちしております。

第35回東日本手外科研究会
会長 長田 伝重
(獨協医科大学日光医療センター)

●●● 第36回東日本手外科研究会

第36回東日本手外科研究会を2022年3月5日（土）、茨城県つくば市のつくば国際会議場にて開催させていただくことになりました。大変光栄に存じます。

テーマは「知・好・楽」と致しました。「知・好・楽」とは論語にある「子曰、知之者不如好之者、好之者不如樂之者」からの言葉で、日本での一般的な解釈は「知っているだけの人は好んでやっている人になれない。好んでやっている人も楽しんでやっている人にはかなわない。」という仕事などへの取り組み方を述べた言葉です。私は本研究会には1990年に東京で開催された第4回から参加してきました。本研究会は新しい治療の工夫や貴重な症例の治療などを勉強できる会と思えます。会員の皆様とともに、手外科をますます好きになって楽しめるよう勉強できる会にしたいと考えております。

つくば市は茨城県の県南に位置し、比較的温暖な地域にあります。東京駅からは60数kmで東京からも筑波大学行き的高速バスが出ています。つくばエクスプレスで秋葉原から最速45分、成田空港から高速バスで約1時間とアクセスがよいところです。中心部の研究学園都市は、宇宙

航空開発機構（JAXA）ほか国立の研究機関が並ぶ比較的新しい街です。ハイキングで人気の名峰筑波山が近く、つくば駅からバスが頻繁に出ています。中腹には筑波山神社があり、ロープウェイ等で山頂に登れば関東平野を一望できます。茨城県では水戸の偕楽園の梅が有名ですが、この時期には筑波山の梅林でも梅まつりをやっていて梅を楽しめます。また、日本で2番目に広い湖である霞ヶ浦が近く、最近では旧筑波鉄道跡のサイクリングロードも人気です。観光も楽しんでいただければと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

第36回東日本手外科研究会

会長 西浦康正

(筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センター)

●●● 第37回東日本手外科研究会

第37回東日本手外科研究会を開催させていただくことになりました。秋田県では手外科関連の研究会、学会としては初の開催となります。会期は2023年1月28日（土曜日）、会場は秋田市にぎわい交流館AUを予定しております。具体的なスローガン、テーマはまだ検討段階です。冬の秋田に多くの会員がお越しただいて、秋田の食、お酒、特有の自然環境を楽しみながら、手外科を熱く語り合えるような研究会を目指していきます。会員の皆様方にはご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

第37回東日本手外科研究会

会長 千馬誠悦

(中通総合病院 整形外科)

●●● 運営委員会から

以下に、令和2年1月31日に開催されました運営委員会の議事を中心に記載いたします。

1. 第34回東日本手外科研究会: 令和2年1月31日、第34回東日本手外科研究会が、福本恵三会長（埼玉慈恵病院 埼玉手外科マイクロサージャリー研究所）の主催のもと、東京港区の東京慈恵会医科大学新橋キャンパスで開催され、盛会裡に無事終了いたしました。
2. 会員動向: 新入会員71名で、現会員数は668名となりました。
3. 会長・次期会長の承認: 会長に長田伝重先生（獨協医科大学日光医療センター）が、次期会長に西浦康正先生（筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センター）が承認されました。また次々期会長に千馬誠悦先生（中通総合病院 整形外科）が選出されました。
4. 新名誉会員の推薦: 青木光広先生が新名誉会員として承認されました。
5. 運営委員: 任期満了を迎えた19名の委員（青木光広、稲垣克記、福本恵三、六角智之、池田全良、石垣大介、金 潤壽、坪川直人、西浦康正、若林良明、和田卓郎、中村俊康、新井猛、有野浩司、川崎恵吉、長谷川和重、原 章、平瀬雄一、南野光彦）のうち、満65歳を迎えられた青木光広委員を除く18名に関して再任が承認されました。

また、他地区からの新運営委員として、神田俊浩会員（聖隷浜松病院整形外科部長）、新運営委員として、小笹泰宏会員（札幌医科大学整形外科講師）、根本高幸会員（太田総合病院手外科センター副部長）、森谷浩治会員（新潟手の外科研究所研究部長）の4名が選出されました。

長 田 伝 重

●●● 東日本手外科研究会事務局

〒108-0073

東京都港区三田3-13-12 三田MTビル (株)アイ・エス・エス内

TEL: 03-6369-9984 / FAX: 03-6369-9982 / E-mail info@ejhand.jp

URL <http://www.jssh.or.jp/ejhand/>